

## 集中講義「島のしくみ」レポート

### 与論島の活性化のために

工学部 機械工学科

3年 一廣 大聖

今回集中講義という形で与論島に人生で初めて訪れた。沖縄などにも行ったことなかった私は島の自然の豊かさ広い空、澄み切った綺麗な海に心が躍った。この夏インターンなどの関係で東京や大阪などの都会に行ったがどこか忙しく、ゆっくりと時間が流れているように感じる与論島はとても魅力的な島であり多くの人にこの島へ訪れてほしいと感じた。この島をより活性化させるために私は二つの方法を考えた。

一つ目がクラウドファンディングによるイベントなどの呼び込みである。今ネットでは事業の開始やイベントの開催、物品の生産のための資金を募集する方法がある。例えば有名歌手のコンサートを島で行いたいというイベントを立てたとする。開催費や資金援助者に対する特典などでなどで収支はほぼ±0となるが、この方法には他の目的がありイベント自体での利益ではなく、来ていただいた方が与論島で他の施設やレジャーを利用することによって利益を出すのが目的である。島の方などに聞いたがバックパッカーの方などは島に魅了され当初の予定より多く滞在した方などもいると聞いた。島はそれほど魅力的であり島で行われたイベント目的で来た方も島に魅了されるはずである。しかしこの方法にも多くの問題があり、まず島内での交通や足の問題がある。多くの人が訪れた場合、島にあるバスなどで対応を行うことができるのか、また追加で滞在を希望した人が自転車や原付などの足を利用するための数があるかどうか、宿泊施設の数などである。滞在中に自転車で島内を回ったが小さな島とはいえかなりの体力を要した。また大きなホテルなどが閉店していたり宿泊施設に余裕はあるのかと感じた。

二つ目は SNS による島の呼び込みである。島は多くの撮影スポットがあり時間や季節によりその顔を大きく変える。何気ない島の方にとっては当たり前の風景であっても他の地域に住んでいる人間にとっては当たり前ではないはずである。東京などではアロマの香りを炊いたプラネタリウムなどがあり向こうの方はストレスを解消するためにそういった施設を多く利用している。何気ない風景の写真を見て島に行きたい、日常を忘れて落ち着いた時間を感じたいと思わせるような写真を SNS にもっと投稿するべきだと思う。

また今若い人の間ではインスタグラムなどの SNS に写真を投稿することが流行っている。島で昼食をとっていた際若い女性が料理やお店の内装などの写真を撮っていた。東京などの飲食店ではお店の料理を SNS にアップロードしていただいた際〇〇をプレゼントしますといったことを行っているお店もある。与

論島にはアクセスするために多くの資金が必要であり、また島に滞在する際も食事や各レジャースポットなどでも必要となる。こういった資金の節約になる方法は来ていただいた方にはうれしいものであり、余った資金をまた別の施設で使っていただくことでより島について多くのことを知っていただけたら考える。SNSは国内だけではなく海外の人を呼び込むためにもとても有効な手段である。島や国内の人口が減少する中で今後は海外の人を呼び込むための方法が必要であり SNS は簡単で影響の与えやすいコンテンツである。

以上が私が考えた島の活性化方法です。島は自然が豊かで独特の時間が流れており多くの人間が魅了されるはずだ。私も今回訪れ魅了された一人である。再び島を訪れたいと強く思い、また、多くの方が与論島をおとずれ益々の島の活性化を願う。